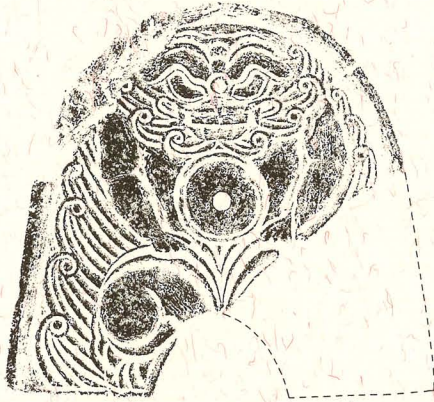


1992年度

平城宮跡発掘調査部
発掘調査概報



1993

奈良国立文化財研究所



第238次調査 第二次朝堂院東第五堂の遺構全景(南東から)

凡 例

1. 本書は、奈良国立文化財研究所平城宮跡発掘調査部が1992年度に実施した平城宮跡、平城京内遺跡等の発掘調査の概要報告である。各調査報告の執筆は、各現場の発掘担当者が行なった。
2. 発掘遺構図に付した座標値は、平城宮内遺構、平城京内遺構共に国土方眼第VI座標系による座標値である。高さはすべて海拔高で示す。
3. 遺構図には、遺構ごとに一連の番号を付け、番号の前に、S A（築地・塀）、S B（建物）、S C（廊）、S D（溝・濠）、S E（井戸）、S F（道路）、S K（土坑）、S S（足場）、S X（その他）などの分類記号を付した。なお遺構番号のなかには仮番号で示したものを含んでいる。
4. 平城宮出土軒瓦・土器の編年は次のように表わす（カッコ内は西暦による略年代）。平城京内についてもこれを準用した。
軒瓦；平城宮出土軒瓦編年第Ⅰ期（708～721）、第Ⅱ期（721～745）、第Ⅲ期（745～757）、第Ⅳ期（757～770）、第Ⅴ期（770～784）
土器；平城宮土器Ⅰ（710）、Ⅱ（725）、Ⅲ（750）、Ⅳ（765）、Ⅴ（780）、Ⅵ（800）、Ⅶ（825）

目 次

I 平城宮の調査	2
1 式部省の調査	第229・235次 3
2 式部省東官衙の調査	第236次 24
3 第二次朝堂院東第五堂の調査	第238次 39
4 東面大垣の調査	第234-11次 49
5 西面大垣の調査	第234-12次 53
II 平城京及び京内寺院等の調査	55
6 左京三条一坊十・十五・十六坪の調査	第230次 57
7 東紀寺遺跡の調査	第240次 67
8 平城宮北方の調査	第234-6次 71
9 東一坊大路西側溝の調査	第234-9次 73
10 左京三条一坊十坪の調査	第234-10次 74
11 薬師寺講堂・北面回廊の調査	第233次 75
12 頭塔の調査	第237次 83
13 東大寺南大門の調査	第234-2次 89
14 法華寺旧境内の調査	第234-3,15次 92
別表 小規模調査等概要 (第234-1,4,5,7,8,13,14,16,17,18次)	96

1992年度

平城宮跡発掘調査部発掘調査概報

1993. 6

奈良国立文化財研究所